



宇靈羅

第130号

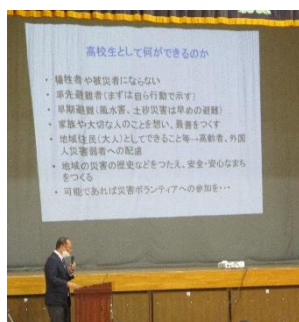
班回覧

発行日：令和4年11月29日 発行者：校長 藤田 知彦

防災講話

11月2日(水) 第一体育館

11月2日に、岩手大学地域防災研究センター教授福留邦洋様をお招きし、令和4年度防災講話を開催いたしました。講話では、何かが起きた時に対応するのは大事ではあるが、日頃から災害に対する準備をしておくことが大事であるとお話していただきました。



和楽器演奏実践

11月2日(水)・9日(水) 音楽室

11月2日と9日の2日間、音楽の授業で岩手県民謡協会会長 藤沢清美先生を招聘し、和楽器(篠笛)演奏実践を実施いたしました。先生からは日本音楽、民謡、郷土芸能等幅広く、迫力ある演奏とともに魅力を生徒に伝えていただきました。演奏実践を通して、生徒は篠笛の音色の美しさ、哀愁漂う雰囲気魅了され、大変貴重な経験となりました。



KIZキャラバン②

10月31日(月) 小本中学校

10月31日、小本中学校でKIZキャラバンを開催いたしました。本校からは2年生7名、3年生3名、教員4名が訪問し、KIZUKIプロジェクトで行った探究活動の成果を発表したり、ディベートの様子を披露したりしました。中学生と高校生が交ざって行ったワークショップでは岩泉町の課題について考え、活発な意見交流がされました。



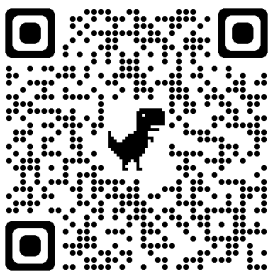
公式ホームページも
随時更新中です！

岩泉高校

コードを読み取って
アクセスできます
(岩泉高校公式HP)



noteでの掲載も
行っています！
是非ご覧ください！



12月の行事予定

- 1日(木) KIZUKIWEEK
 - 5日(月) 2学年修学旅行～9日(金)
 - 10日(土) GTEC
 - 13日(火) 1年岩手県立大学宮古短期大学部出張講義
 - 14日(水) 三者面談～16日(金)
 - 19日(月) スクールカウンセラー来校日
 - 20日(火) 情報モラル講習②・2年歯科保健指導
 - 21日(水) 終業式・大掃除②
 - 22日(木) 冬季休業～1月10日(火)
 - ・冬季課外～27日(火)
 - ・補習～26日(月)・就職ガイダンス
 - 24日(土) 3年Kパック模試～25日(日)
 - 26日(月) 高大連携ウインターセッション～27日(火)
 - 29日(木) 学校閉庁日～1月3日(火)
- (※予定は変更の可能性があります)

各大会の結果



※11月21日(月)までに県大会があった競技の紹介となります。

【演劇】第45回岩手県高等学校総合文化祭

優良賞

【卓球】第68回岩手県高等学校新人大会

男子シングルス：佐々木琉成 1回戦 岩泉 1-3 高田

【弓道】第41回全国高等学校弓道選抜大会岩手県予選

男子団体：12中/36射，男子個人：坂下雄斗 2中/12射

女子団体：7中/36射，女子個人：工藤香雪 2中/12射

【ボクシング】第63回岩手県高等学校新人大会

佐々木淑樹：男子1部 バンタム級 対水沢工業 RSC(1R1:47)第3位

皆川 大弥：男子1部 ミドル級 対黒沢尻子業 RSC(3R1:28)第3位

佐々木翔牙：男子2部 バンタム級 対千厩 RSC(1R1:06)第3位

菊地桐太郎：男子2部 ライト級 対水沢工業 0-5

藤島 叶多：男子2部 ライト級 1回戦 対江南義塾 RSC(1R1:19)

2回戦 対水沢工業 RSC(3R1:03)優勝 東北大会進出

工藤 可乃：女子2部 ライトウェルター級 対釜石 1-4 第2位

【サッカー】第57回岩手県高等学校新人大会

1回線 岩泉・スコア 3-1 久慈，2回戦 岩泉・スコア 0-7 盛岡誠桜

インターンシップ

10月25日(火)~27日(木) 岩泉町・田野畑村

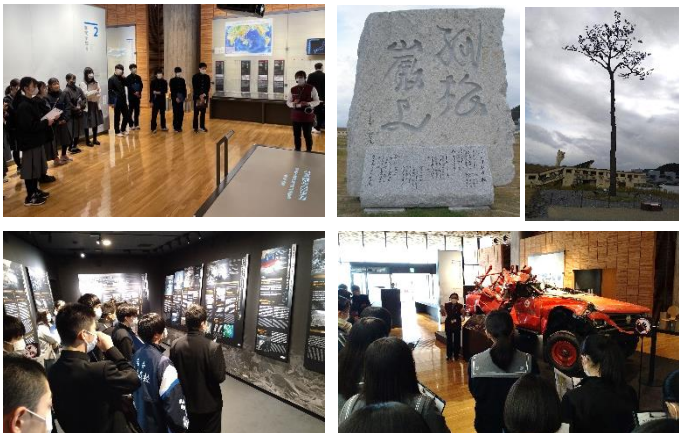
10月25日~27日の3日間、町内を中心とした各事業所でインターンシップを実施しました。短い期間でしたが社会人として必要なことや働く意義を再確認し、今後の進路活動に向けて有益な機会となりました。御協力いただいた各事業所の皆さまには感謝申し上げます。



1年復興教育

10月25日(火)~26日(水)
釜石市・陸前高田市

10月25日に釜石市「うのすまい・トモス」と陸前高田市「東日本大震災津波伝承館」を見学してきました。東日本大震災の被害の事実を改めて知ることができ、学んだことを今後の自分にどういかしていくのか、どう行動しなければならないのかを考える、貴重な機会となりました。



3年復興教育

10月26日(水)~27日(木)
会議室

いわての復興教育推進事業の一環として、3年生37名が復興教育(避難所運営ゲーム・講演会)を行い、避難所運営の難しさや、大切な人を守るために日頃から取り組めることなどを学びました。いつ何時起きるか分からない災害。いざという時に、「助けられる側」から「助ける側」になってくれることを期待します。

